
東北大学陸上競技部

OB・OG通信

2016年No. 5 (2016. 10)

・秩父宮賜盃第 48 回全日本大学駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会
兼第 34 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会
…男子優勝！4 年連続、全日本大学駅伝出場！！

・天皇賜盃第 85 回日本学生陸上競技対校選手権
…宮崎 幸辰(4)、高橋 拓実(4)、田中 祥平 (3)、の 3 名が出場！
男子 100m で宮崎 幸辰(4)が 7 位入賞！10”35 で部記録更新！！

・第 31 回国公立 26 大学対校陸上競技大会
…男子フィールド 3 位！男子総合 9 位、女子総合 18 位
男子棒高跳で高橋 拓実(4)が 5m00、部記録更新！！
女子 10000mW で白井 花(2)が 56’10”69、部記録更新！！

・秩父宮賜盃第 48 回全日本大学駅伝対校選手権大会東北地区選考会 兼第 34 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区選考会	2～3 ページ
・天皇賜盃第 85 回日本学生陸上競技対校選手権	4～5 ページ
・第 31 回国公立 26 大学対校陸上競技大会	6～13 ページ
・OB・OG 対現役対抗戦	14～19 ページ
・評定河原陸上競技場全天候化記念祝賀会	19 ページ
・自己ベスト更新者	19 ページ
・今後の予定	20 ページ
・編集後記	20 ページ
・26 大戦決勝記録一覧	21～22 ページ

清秋の候、会員の皆様にはますますご発展のほどお喜び申し上げます。

今号では、秩父宮賜盃第 48 回全日本大学駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会兼第 34 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会の結果と、第 31 回国公立 26 大学対校陸上競技大会の結果を中心に、各大会における選手の活躍をお伝えします。

◎秩父宮賜盃第 48 回全日本大学駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会兼第 34 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会東北地区代表選考会(9/12)・宮城県総合運動公園(宮城)

今年は開催地が利府に移り、男子は 15km・10km のロードレースで、女子は 5km、4km、6km の駅伝形式で、合計タイムを競いました。悪天候が懸念されましたが、当日はとても走りやすい天候で、男子チームは堅実な走りを見せて優勝し、4 大会連続 11 回目の本大会出場を勝ち取りました。女子チームは健闘したものの 4 位となり、全日本大学女子駅伝への出場はなりませんでしたが、宮間(M1) と梶山(5)が東北学連選抜チームに選抜されました。リザルトと長距離 PC からの全日本大学駅伝への抱負を紹介します。

・男子対抗戦結果

順位	大学	記録
1 位	東北大学	5 時間 28 分 01 秒
2 位	東北福祉大学	5 時間 33 分 16 秒
3 位	東北学院大学	5 時間 36 分 01 秒

・女子対抗戦結果

順位	大学	記録
1 位	東北福祉大学	1 時間 45 分 27 秒
2 位	石巻専修大学	1 時間 47 分 24 秒
3 位	東北学院大学	1 時間 59 分 11 秒
4 位	東北大学	1 時間 59 分 56 秒

	氏名 (学年)	順位	記録
15km	高橋 佳希(M1)	1 着	48'21"
	出口 武志(4)	5 着	49'04"
	本間 涼介(4)	7 着	49'15"
	南雲 信之介(5)	8 着	49'23"
10km	笠間 淳平(2)	1 着	32'42"
	酒井 洋輔(2)	2 着	32'46"
	酒井 啓一郎(3)	3 着	33'11"
	本田 雄生(4)	5 着	33'19"

	氏名 (学年)	順位	記録
5 km	須田 桜(2)	7 着	20'04"
4 km	西條 詩織(4)	6 着	16'03"
6 km	梶山 あずさ(4)	7 着	23'42"
5 km	阿部 春花(2)	10 着	20'54"
4 km	門田 佳奈(3)	9 着	16'41"
6km	宮間 志帆(M1)	5 着	22'32"



▲15km の部で優勝した高橋(M1)



▲須田(2)から西條(4)へのたすきの受け渡し

〈全日本大学駅伝の抱負〉

この度、全日本大学駅伝東北地区選考会を勝ち抜き、4大会連続11回目の本戦出場権を獲得することができました。

一昨年までは仙台大学トラックでの10000m競走による8人の合計タイムを競っていましたが、昨年は北上総合運動公園へ会場が移され、公園の周回コースにおける15kmと10kmの二組でのレースに変更しました。そして、今年は再び会場が変更され、宮城県総合運動公園の敷地内で選考会が開催されました。今回は、競技場内トラック、砂利道、駐車場内コンクリートと足場が頻繁に変わり、またアップダウンも豊富に組み込まれた独特の、ある意味クロスカントリーのような一周2kmのコースを、15kmと10km4人ずつ、合計8人の合計タイムを競う形式でした。

前評判では15kmの部で福祉大と接戦になることが想定されていましたが、しかし、各選手が力走を見せ、15kmの部終了時点で2分以上の差をつけトップに立ち、その後10kmの部ではその差を更に広げ、最終的に2位と5分以上の大差をつけ堂々の優勝を果たしました。今回の勝利へ繋がった大きな要因として、念入りなコースの下見・調査が挙げられます。上記した通り、今年はあまり類を見ないユニークなコースでしたので、選手には2回に渡り試走を行ってもらいました。一回目は軽くジョグでコースの確認程度でしたが、二回目は本番に近いペースで試走を行い、気づいた点を全員で共有し、それをベースに当日のレースプランを検討しました。その結果、序盤に落ち着いてレースを進め、終盤スパートをかけるというレースプラン通りの走りを実行できた選手がほとんどでした。逆に、他大学の中には序盤速く入りすぎ、アップダウンで足を疲弊し徐々に失速してしまっていた選手が見られたのも事実です。東北大では各選手が冷静に対処できたことが功を奏したと考えられます。

さて、選考会を無事切り抜けましたが、あくまでも私たちの最大の目標は全日本大学駅伝であり、そこで「東北大部記録の更新」、そして「他の地方国公立大学に勝つ」ことを達成するためにこれまで練習してきました。東北大部記録は2004年に樹立された5時間41分20秒であり、昨年も目標としましたが達成には至りませんでした。この記録を単純に全日本大学駅伝の総走行距離106.8kmで除すると、約3'11/kmとなり最低でも10kmを31分台で走る実力が必要であることが分かります。現段階で、31分台、もしくはそれ以上のタイムを保持する部員は5名在籍していますし、選考会の走りや最近の練習状況を見ると、持ちタイムが無くともそれに近い実力を備えている部員も多数見受けられます。このことから、全日本本戦までにチーム全体の底上げを図り、またベストなコンディションで当日を迎えることができるよう調整すれば目標達成も夢ではないと思います。また、今大会には北信越地区を代表して新潟大学、そして北海道地区から北海道教育大学が出場する予定です。本戦で、各選手には同じ国立大として絶対に負けないという強い気持ちを持ち、臨んでほしいと思います。

上記の目標達成をし、応援してくださる方々へいいご報告ができるよう本戦までのあと少ない期間を有効に活用していきます。

最後になりますが、選考会へ駆け付けて下さったOB・OGの方々に感謝申し上げます。引き続き、全日本本戦においても応援・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

東北大学学友会陸上競技部長距離PC 酒井 啓一郎

◎天皇賜盃第 85 回日本学生陸上競技対校選手権 (9/2~4)

・熊谷スポーツ文化公園陸上競技場(埼玉)

各地区の予選を勝ち抜いた選手やハイレベルな参加標準記録を突破した選手など全国の猛者が集うこの大会に、我が校からも 4 名の選手が出場権を獲得し、3 名の選手が出場しました。リザルトと選手の感想を紹介します。

男子 100m 200m

・宮崎 幸辰 (4)	100m	予選	6 組 1 着	10"39(+0.3)
		準決勝	1 組 2 着	10"35(+0.5)
		決勝	7 着	10"44(+1.1)
	200m	予選	6 組 3 着	21"33(+0.5)
		準決勝	3 組 7 着	21"46(-0.3)

日本インカレを終えて ～タタール人の砂漠とソラノヲト～

9 月 2～4 日に開催された日本インカレで 100m と 200m に出場いたしました。結果は、100m は 7 位入賞、200m は準決勝進出というものでした。なお、100m は自己ベストである 10"35 を準決勝で出すことができました。

まずは 100m に関してですが、年代別の日本ジュニアを除くと初めて全国の決勝の舞台に立つことができました。決勝は荘厳で、魅力的な雰囲気にもまれており、とても楽しく走ることができました。さらに、こんなにも早く 10"3 台で走れるようになったのはとても嬉しいです。去年から今年の 6 月まで、私は不調に陥っており、悪いときでは 100m は 11 秒台でしか走れませんでした。その期間、幾度となく引退を考えました。途中で辞めずにこの結果を出すことができたのはさまざまな人からサポートや励ましを受けたお陰です。そして、この不調期間を経て技術的にも、精神的にも大いに成長することができました。

200m についてですが、10"3 台の走りにまだ体が慣れていないことと、100m の決勝で燃え尽きてしまったためにいつもの力が出せないまま敗退してしまいました。この部分はまだ甘い証拠なので、精進いたします。また、不調期間を経て習得した新しい走りに対して、コーナーの走り方が適正化できていない可能性があるため、来年の日本選手権までには調整する予定です。

今回の結果は、偏に東北大陸上部に携わる皆さんのお陰です。この場をお借りいたしました。御礼申し上げます。誠にありがとうございました。次のレースである国体も、決勝進出を目指して頑張ります。

スポーツ私大などに比べて環境が十分に整っていない七大学でも、短距離の決勝にいけることが証明された。環境以上に大事なものは自分の意志をどこまで貫き通せるかどうか。幸いなことに、下位入賞だから、ぐっとハードルは低い。さあ、次は君達の番だ。君達の中のジャイアントキリングに期待しよう。

“勝利ってのは挑戦の先にあるもんだ” - 達海猛 -

宮崎君の活躍は、東北大学の WEB サイトにも掲載されました。

「天皇賜盃第 85 回日本学生陸上競技対校選手権大会（全日本インカレ）男子 100m で学友会陸上競技部の宮崎幸辰さんが 7 位に入賞しました」

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2016/09/news20160914-02.html>

男子棒高跳

・高橋 拓実(4) NM

棒高跳に出場してきましたが、記録なしという結果でした。応援や期待に結果で応えることが出来ず、大変申し訳なく思います。

大会までの準備、試合内容を振り返ると、心技体すべてにおいて万全とは言えませんでした。やりたいことを一つもできずに 3 本の試技を終えたという感じです。東北インカレの際に 1 ヶ月以上をかけてメンタルや体調を調えたことを考えると、今回は失敗だったと言えます。

来年以降も学生として競技を続けるのであれば、「いい経験」の一つとしてこの大会を位置付けできたかもしれません。しかし、学生最後のインカレとして、自己記録の更新、8 位入賞を目標にしていた以上、いい経験をしたと言える内容ではありませんでした。

競技者として残り少ない時間ではありますが、自己記録更新となる 5m の成功にむけて努力していくつもりです。

応援ありがとうございました。

男子走高跳

・田中 祥平(3) NM

高校の時からの夢だった全国大会に出場することを叶えることができたものの、その結果は NM と残念な結果に終わってしまいました。

最初の高さが 2m5cm とベスト記録から 2cm 高いところからのスタートということで入念なアップをして臨みました。ずっと前から痛めていた足首の靭帯の影響であまり跳躍練習が積めていなかったのですが、本番当日その痛みはなく、調子は悪くありませんでした。1 本目の跳躍は非常に惜しく、クリアランスが少し早く落としてしまったのであって、身体は越えていたと思います。しかし 1 本目で跳ぶことが出来そうと思い、変に緊張してしまい 2、3 本目は本来の跳躍が出来ずに力んでしまいました。

初めて全国大会を経験してみて、次はこの舞台にただ出場するだけでなく活躍をしてみたいという思いが生まれました。他の選手と比較して筋肉量や助走の技術などが私には足りないと感じました。夢の全国大会に出場したとしてもその記録が NM では後味が悪いです。私にはまだ来年がありますので、一から見直してリベンジを果たしたいと思います。

男子 3000mSC

・田中 直樹 (M1) DNS

◎第 31 回国公立 26 大学対校陸上競技選手権大会(9/19～21)

・Shonan BMW スタジアム平塚(神奈川)

今年も参加校が増え、26 大学による対校戦となった今大会。東北大学の選手たちは夏の練習の成果を発揮し、2 種目の部記録更新、男子フィールド 3 位、と健闘しました。対校戦に出場した選手たちの観戦記を掲載します。

男子100m 予選

4組2着 藤井佳祐(3) 11"01(+2.9)

苦手としていたスタートが上手く行き周りと差をつけることが出来た。しかし、前傾を維持することが出来ず滑らかな加速が出来ていなかった。最後は少し持たずだれてしまったが2着で準決勝に進めた。

8組5着 瀬良将太(2) 11"70(+0.8)

スタートの反応が遅れ他の選手に先行を許すも、素早いピッチを活かし40m付近ではトップスピードに乗る。後半は少し力みが見られピッチが落ちてしまい、伸びきらず5着でゴール。結果的にスタートの遅れが悔やまれるレースとなった。

10組4着 大衡竜太(3) 11"38(+1.4)

勢いよくスタートしたが中盤以降力んでしまったかスピードに乗れず、最後まで動きがバラバラになってフィニッシュ。苦しいレースとなってしまった。来期までに改善すべき点が見つかった。

男子100m 準決勝

1組4着 藤井佳祐(3) 11"03(+1.5)

スタート1歩目ですまずいてしまった。無理に速度を上げようとしたためしっかりと乗ることが出来ず、力を出し切れないレースとなった。

女子100m 予選

2組5着 吉村梢(3) 13"27(+2.1)

スタートで体が浮いてしまったが、30m付近から立て直す。中盤は軽快なピッチを刻む走りを見せるも後半伸びず失速し、5番手でゴール。

男子200m 予選

1組6着 白鳥海知(2) 22"95(+0.8)

カーブでは力が入りながらもうまく地面に力が伝わらずスピードに乗らなかった。カーブ抜けてからも前半に力みすぎた影響か足が前に出ず伸びに欠けた。

6組6着 津嶋優希(3) 23"19(+3.1)

スタートダッシュはこれまでの課題でもあったが、まだ改善は見られず置いていかれる。150m付近まではスピードを維持したがラスト50mで失速し、23"19でフィニッシュ。後半での粘りも普段に比べ足りなかったか。

女子200m 予選

2組2着 吉村梢(3) 26"84(+2.6)

3レーンからスタート。100m付近で内側の選手に先行を許すが、後半はリズムの良い軽快な走りで競り合いを抜け出し、余裕を持って2着でゴール。準決勝進出を決めた。

3組6着 中村真璃子(2) 29"19(+3.4)

スタート後すぐ体が起き上がってしまい、加速がスムーズに行かなかったが、カーブは細かいピッチの走りで立て直す。後半は伸びきらず150m辺りから失速してしまい6着でゴール。

女子200m 準決勝

3組5着 吉村梢(3) 26"92(+1.8)

スタートは両脇の選手に遅れを取ったが50m辺りからスピードに乗り、7、8レーンの選手と4番手争いを繰り広げる。後半もピッチの落ちない粘り強い走りをして、5着でフィニッシュ。

男子400m 予選

1組6着 渡邊俊(3) 52"71

一番外のレーンからのスタートとなったため序盤から細かいピッチで飛ばしていくが、バックストレートで徐々に内側の選手に差を詰められる。250m付近から動きに堅さが見られピッチが落ちていく。ラスト100mは粘りを見せるも前との差は縮まらず、6着でゴール。

3組6着 倉田真樹(1) 52"94

スタートから思ったようにピッチが上がらず、持ち味である前半の攻めの入りが出来なかった。バックストレートでも向かい風の影響もあってスピードに乗れず、他の選手に大きく遅れを取る。後半はフォームが崩れながらもしっかりと走り切り、最後は前の選手との差を詰める粘りを見せた。

男子800m 予選

3組4着 清野雄太(2) 2'00"40

先頭集団につく。全体的に落ち着いたスタート。400m通過は60秒ほどか。相当ゆっくりとしたレース展開。2周目のバックストレートでペースが急激に上がる。前を走る選手が接触、転倒。この時点で4番目に。ラストスパートをかけるも、前の選手と差は詰まらず。4着でフィニッシュ。

4組3着 佐藤宏夢(2) 2'00"58

ブレイクラインの時点では6番目か。先頭集団の後方につく。自分のペースでレースを進める。1周目通過は60秒ほど。バックストレートからスパートをかけ、順位をじりじり上げる。ラスト150mで再度スパート。一時2番目まで順位をあげるが、ゴール直前に後方の選手に追い越される。全体の3着でフィニッシュ。

5組1着 川口航汰(2) 1'58"47

全体的に速いレース展開。川口は落ち着きながら集団の後方につく。1周目の通過は58秒ほどか。ラスト300mでスピードをあげ集団の2番目に。ラスト100mでスパート、後

方の選手との差を広げながら1着でフィニッシュ。ラストは後方を確認する余裕も見られた。

男子800m 準決勝

3組2着 川口航汰(2) 1'57"64

序盤、いい位置についたかと思われたが、200m通過で他の選手に前に出られる。ポケット気味の状態で1周目を通過。全体の7位で、タイムは59秒ほど。2周目のバックストレートで仕掛け、順位を一気に3位まで上げた。ラスト150mで再度スパート。ホームストレートで2位に浮上すると、そのままフィニッシュ。着順取りで決勝進出を決めた。

男子800m 決勝

2着 川口航汰(2) 1'53"46

全体的にハイペース。4番手に着く。200m通過は26秒。前を走る選手が、やや下がってきて大きな集団になる。1周目は54秒ほどか。600m付近で、後方の選手に追い越されるが食らいつく。そのまま先頭を維持。ラスト100mでスパートをかけ、一気に2位に躍り出る。自身のPBを塗り替える1分53秒46でフィニッシュ。7点をもぎ取った。

女子800m 予選

2組5着 飯田夏生(2) 2'29"05

順調なスタート。先頭集団の中につく。300m付近から先頭へ。レースを引っ張る。400mの通過は72秒。フォームがやや力みがちか。ラスト150mで後半の集団に越されてしまうも、粘りのスパートを見せる。5着でフィニッシュ。着順を逃すも、タイムで準決勝の進出を決めた。

女子800m 準決勝

3組6着 飯田夏生(2) 2'33"54

他の選手が飛び出し、飯田は集団の後方につく。全体の6番目で200m通過。5位を走る選手と競り合いながら1周目を通過。400mは71秒くらいか。強い向かい風の影響か、バックストレートで相当ペースが落ちた。前との差が広がったか。ホームストレー

トでピッチを上げ、前の選手を追うが惜しくも届かず。6着でフィニッシュ

男子1500m 予選

2組10着 松田将大(2) 4'15"21

飛び出した先頭を追いかけ速いスタート。ややオーバーストライドながら、前方でレースを進め、400mを63秒で通過。その後先頭のペースが落ちるが、2番手を維持し、800mは2分11秒。ここから徐々にピッチが落ち、順位を落としてしまう。ラスト300mの争いに加わることができず、苦しい走りとなった。

4組2着 笠間淳平(2) 4'02"16

速めに展開する集団の後ろにつき、落ち着いてレースに入る。400mは64秒。700mすぎからポジションを上げ、4番手に上がる。800mは2分9秒。1000mをすぎたところで先頭に立ち、集団を引っ張る。1200mは3分15秒。ラスト200mで4番手となるも、ラスト100mでもう一度スパートすると、わずかな差で2人をかわし、2位でゴールした。

男子1500m 決勝

11着 笠間淳平(2) 4'06"06

密集した集団の後方からレースを進める。スローペースとなり、400mは69秒。激しいポジション争いの中で、あまり位置を変えず落ち着いて走る。800mも2分15秒と、スローのまま。1000mを通過して、一気にペースが上がり、笠間もスパートをかける。1200mは3分18秒。残り300mからのスパート合戦で粘るも、徐々に順位を下げてしまい、11位、4分06秒でゴールした。

女子1500m 予選

1組11着 飯田夏生(2) 5'03"63

集団の後ろについてレースに入る。400mは78秒で通過。600mすぎから集団から遅れはじめ、1000mで完全に遅れるも、前を追い粘りの走りを見せる。1200mは4分3秒。ラスト200mで動きを切り替えてペースを上げると、見事大学ベストでゴールした。

2組12着 須田桜(2) 5'16"07

集団の中ほどにつき、落ち着いてレースに入る。400mは79秒。500mすぎで集団が2つに分かれ、第二集団となる。800mは2分43秒。900mから、第二集団を引っ張りはじめる。1200mを4分11秒で通過してからスパートをかけると、1人かわし、5分16秒でゴールした。

男子5000m 決勝

2組8着 本間涼介(4) 15'08"23

2組21着 酒井啓一郎(3) 15'26"70

エース高橋佳希不在の中、酒井と本間が出走。本間はランキング4位で今シーズンPBも更新していたため、入賞を目指してのレース。ランキング1位、2位が飛び出していく中、3位集団でレースを進める。2000mから4000mで大きくペースが落ちラスト勝負に。積極的に前に出て後続を引き離そうとスパートしたが、関東勢のスピードに対応できず、15'08"23で8位に終わった。

酒井はPBを目指し高速レースが展開される中、落ち着いてレースを運んだ。ハイペースについていけなくなっていた選手を確実に拾っていき、15'26"70でゴール。

女子5000m 決勝

20着 須田桜(2) 19'39"37

23着 阿部春花(2) 20'23"98

須田、阿部ともに後方からのスタートとなり、最初の1000をそれぞれ3'47"と3'52"で通過した。その後も両者ともペースを大きく崩すことなく走り、落ちてきた選手を徐々に捉えるような展開となる。須田は最後までペースを保ったままゴールしベストを大幅に更新、阿部も中盤少しペースが落ちたものの最後にペースを上げベストを更新した。両者とも最後まで粘りきることができ実力が発揮されたレースだった。

男子110mH予選

2組6着 小幡卓哉(4) 16"49(+1.6)

スタートから1台目までの加速があまり良くない。また、ハードリングにおいても上体が少し遅れており、ブレーキとなっていた。雨が降っており気温が低く、動きが固くなっているようだった。

3組6着 勝井友樹(2) 16"63(+2.4)

スタートからやや出遅れる。1台目で浮いてしまい、それが影響してか、2台目、3台目にかけてのスピードもいまいちあがらず、そのままゴールした。

5組1着 本間大輔(M2) 15"30(+1.0)

小雨が降るが、風は強くないレース。1台目からトップを譲らず安定したレースだった。後半向かい風が吹き、減速するも、ハードリングが崩れることはなかった。

男子110mH準決勝

1組3着 本間大輔(M2) 15"42(+1.4)

予選より雨は弱くグラウンドコンディションは良い。セットから号砲までの時間がとても短かったが、問題なく反応し、1台目はほぼトップで通過。しかし、3、4台目で大きくバランスを崩し、後半のハードルは足をぶつけるようになる。後半の失速がいつもより大きく、他の多くの選手が予選よりタイムを上げてゴールする中、予選よりタイムを落とし、決勝進出はならなかった。

2組8着 勝井友樹(2) 16"40(+2.1)

予選と同様、スタートからやや出遅れる。インターバルでも足を刻めず、後半はインターバルがきつくなり、大きく失速。全体として動きが鈍かった。

3組6着 小幡卓哉(4) 16"10(+2.0)

準決勝においてもアプローチでの加速は予選とあまり変わらなかったが、ハードリングにおいての上体の遅れは少し改善し、予選よりタイムを上げてゴールした。

男子400mH予選

5組3着 羽根田佑真(1) 57"85

外側の2人が棄権したため、前半は自分のリズムを崩さず、テンポよく走っていた。7台目を過ぎたあたりから、15歩を崩すまいとしてストライドを意識し過ぎたためにテンポが遅くなり、ラストの失速が抑えられなかった。ラストの走り方に課題が残るレースとなった。

6組4着 小幡卓哉(4) 56"65

バックストレートに向かい風が吹いていたが、前半はとてもリラックスしており余裕をもって走っていた。中盤から後半にかけて徐々にピッチが落ちてしまったが、オーバーストライド気味な走りでも10台目まで全て15歩で通した。10台目を越えてからゴールまでの間でかなりピッチが上がったことからかなりオーバーストライドになっていたことが伺えた。前半で脱力し過ぎ、後半に余裕を残し過ぎていたようだった。

男子3000mSC決勝

1組7着 立野佑太(1) 10'09"02

前半は集団の中盤で落ち着いたレースを進め、1000mを3'18"で通過したものの、じわりじわりと先頭から離されていき、2000mを6'46"で通過。ラスト1000mペースを上げるものの、10'09"02と苦しいレースとなった。ハードリングは良かったため、フラットでの走力の向上が必要であると感じるレースだった。

2組11着 草島立太(2) 10'13"25

集団後方からレースを展開。1000mは3'18"で通過した。しかし中盤からペースが上がりきらず、10'13"25でゴール。全体的にハードリングでのロスが多かった。今回のレースでベストだったのでハードリング、特に水豪でのハードリングを改善すれば9分台は容易に見えてくると感じるレースだった。

男子10000mW決勝

6着 及川一真(2) 49'44"42
12着 森渉(3) 52'44"04
14着 佐々木亮太(1) 55'37"89

1周目を終えたあたりで2つの集団が形成され、及川は2つ目の集団の中でレースを進めていった。常に集団の中での順位が変動する激しい展開となる。3000mを過ぎたあたりで集団の先頭に出る。その後更にペースを上げ2つ目の集団を離し1人で前の集団を追いかける形となった。先頭集団から落ちてきた選手を拾い順位を上げていく。7000mほどで周回差で追いついてきた選手に引っ張られペースが上がる場面も見られた。その後も自分のペースでレースを進めるが残り1500mで少しペースが落ちる。しかしラストスパートで盛り返しそのままゴール。終始安定したラップを刻み続けた。

森は、集団後方についていたが徐々に離され、2周目以降は1人旅となる。安定して1周2分前後で刻んでいたが、3000m過ぎくらいから徐々にペースが落ち始める。その後はペースの上下が激しくなるが最後はペースをあげ、12着でゴールした。

佐々木は、スタート直後から集団に離されてしまい苦しい展開になる。1000通過後部記録保持者の白井に追いつかれるが必死に食らい付き、4000m付近で再び抜かし返す。そのまま引き離し、1周2'15"~20"くらいのペースで最後まで安定していた。14着でゴールした。

女子10000mW決勝

4着 白井花(2) 56'35"07

白井は、1周目から前の選手につき、安定したペースでレースを進める。その後周りでは選手の入替わりがあったものの、着実にラップを刻み自己記録並びに部記録を更新した。今後も記録の更新が期待される。

男子4×100mR予選

1組6着 42"78

瀬良(2)-大衡(3)-白鳥(2)-藤井(3)

瀬良：前半は素早いピッチで走るが、後半にやや失速してしまいギリギリのバトンパスとなってしまう。

大衡：1走とのバトンパスの影響もあり加速は遅れたが、スピードに乗ると後半は伸びのある走りでスムーズにバトンパス。

白鳥：カーブを上手く走るも少し力みが見られ、混戦を抜け出せず最下位でバトンパス。

藤井：前を追う厳しい展開となったが徐々に加速して行き、後半は前の数チームとの差を大きく詰めた。

男子4×400mR予選

3組5着 3'29"33

白鳥(2)-小幡(4)-渡邊(3)-竹原(M1)

強い雨風の中でのレース。

白鳥：前半から大きなストライドで攻めの走りをするが、後半やや失速し4番手でバトンパス。

小幡：前半はやや抑え気味であったが、後半は後ろから来た選手との競り合いも功を奏し、前との差を詰める。

渡邊：前半から細かいピッチで前の選手を追うも差は縮まらず、後半には差を広げられてしまう。

竹原：前との差を詰めようと前半から必死に飛ばすもなかなか差は縮まらず、後半大きく失速してしまい5着でゴール。

男子走高跳

1位 山下一也(2) 2m00

身体の調子を見るために185cmから試技を開始。始めの頃の試技は助走があまり良くなかったが、試技の中で助走の動きを大きくしたり、内径のリズムアップを意識したりするなどして調整。185cm、190cmは1回目、195cm、200cmは2回目で成功。203cmに上がると体力が持たず、あまり良い跳躍

ができなくなり3回失敗した。203cmに上がると跳躍が崩れてしまうことが多く、高い高さに対応できる練習が必要であるようだ。

根谷温(2) NM

自己ベストタイの180cmからの開始。1本目は助走のリズムがうまく合わず、テーマとしていた「両腕を使った跳躍」が上手くできていなかった。踏切も中途半端になってしまっていた。2本目は、助走を思い切り走れず、後傾が全くできず、回らない跳躍となった。3本目はその日では1番良かったものの、後傾できず、すべてが中途半端なまま終わってしまった。

女子走高跳

11位 中村真璃子(2) 1m45

140からスタート。1回目でクリアするも、助走が合わないのと体が浮かないのを感じる。145も無理やり合わせて1回目でクリア。150は3回とも失敗。全体的に体の動きが悪く、本来の跳躍が出来なかった。

男子棒高跳

1位 高橋拓実(4) 5m00

4m60は2回目、4m70は1回目でクリア。バーの高さは4m80へ。1回目はポールが柔らかく失敗。2回目からポールを持ち替えるもバーが近くなり失敗。追い込まれた3回目だが、バーの位置を調整しクリアした。この時点で優勝が確定し、バーを自己ベストとなる5mにあげた。その1回目、思いきりよく体を巻き込んだ結果上手くポールの反発をもらい、わずかにかすりながらもクリア。続く5m10の1回目と2回目は、体は上がるもバー上で失速し失敗。3回目は体力の限界だった。最後の対校戦で自己ベスト更新と優勝を達成した。

8位 工藤航平(4) 3m50

3m50は2回目でクリア。続く3m70では、1回目はポールがやわらかく、流れてしまい失敗。2回目はかすりながらも跳んだかに思えたが、ポールがスタンドに当たってしま

いバーが落下。3回目は再び流れてしまい失敗であった。昨年の北大戦以来久々の出場であったが記録を残すことができた。以前からの課題である空中動作の改善が今後記録を伸ばすためには必要だと思われる。

男子走幅跳

5位 岡部大輝(M2) 7m06(+2.4)

1~3本目、助走がうまくかみ合わず、全体的に動きが固く間延びした助走になってしまった。当然飛距離も出ない。4~5本目、助走の走り方をうまく改善できてきた。しかし、踏切が遠く、いまいち踏切が決まらない跳躍となった。6本目、助走、踏切ともうまくまとめられたものの数センチファールしてしまった。7m40cmくらいは跳んでいたように見えたのもったいない跳躍となった。

11位 大塚祐貴(3) 6m75(+1.2)

助走の段階で上下動することがなく、いつもより助走のスピードが上がった。それもあって3本とも6m50を上回る結果であった。1本目と3本目は踏切の時に上に上がりすぎて記録が伸びなかったが、助走スピードをもっと上げることでよい記録に繋がると考えられる。

19位 今泉裕真(2) 6m59(+1.2)

1本目の試技は大きい動きを意識しすぎて足先で助走し、踏み切れず6m59にとどまる。2本目ははじめよりはいい助走だったが直前のブレーキにより6m59。最終跳躍はうまく跳び上がり6m90あたりまでいったもののわずかにファール。全体的に助走がいつもと違いキレがなかった。踏切に繋がる助走の習得が必要だろう。

女子走幅跳

19位 門脇郁(1) 4m74(+2.9)

1本目、4m46。雨により体が冷え助走が小さくなってしまった。体を温め直し2本目の試技に挑む。2本目、4m74。1本目と比べ動きが大きくなり、自己記録を更新した。2

本目と同じスピード・リズムを意識し3本目の試技に臨んだ。強い追い風を考慮し5cm助走位置を下げたが動きの大きさを意識しすぎ、ファールに終わった。東北インカレや七大戦と比べ幅跳びらしい助走になっている。しかし、踏切から着地までの動作をまだ十分習得できていない。空中動作や着地の習得が必要だろう。

20位 渡邊朝美(4) 4m71(+1.6)

1本目は助走を調整できずファール。2本目は助走がスピードに乗れず記録も4m71と低調。3本目はすこし助走を改善したものの、ファールに終わり、低調な結果であった。七大戦後、跳躍練習ができておらず練習不足が明らかである。来シーズンに向けて立て直したいところだ。

男子三段跳

6位 岡部大輝(M2) 14m39(+1.4)

1本目、体が先行しすぎて設置が重心のかなり前にきてしまいステップ以降で踏切足に力を伝えることができなかった。2本目、1本目よりはましたが似たような跳躍。3本目、前後の重心を意識しすぎたせいか、横にバランスを崩してしまった。4、5本目、スピードが乗らず思ったより飛距離が伸びていない。6本目、2cmほどファール。14m50cmのラインを超えていただけにもったいない跳躍となった。

8位 須藤海(4) 14m26(+2.5)

1本目、2本目とも助走が乗らずファール。3本目に40cm手前から踏み切り、14m26の記録で8位、決勝進出。4本目5本目と少しずつ助走を改善し、6本目に手拍子を求める。わずかに1cmファールしたものの15m付近に着地。ポップステップジャンプが5m5m5mの理想的な跳躍であった。これからは助走が課題だろう。

中村龍士(1) NM

1本目、助走のリズムが途中から狂ってしまい加速しきれないままの跳躍になってし

まう。全体のリズムも崩れてしまったため、ややステップで潰れてしまいファールを考慮しても13m30程度の跳躍になってしまう。2本目、助走を10cm下げたものの、1本目よりもリズムに乗れた助走で加速できた分またファールに終わってしまう。記録的にはやや1本目よりも伸びたようだ。3本目、これまでの調子を考慮し、30cm助走を伸ばして挑んだ。結果的にはファールとなってしまったのに加え、リズムの狂った助走となってしまったが、ステップでの潰れをやや抑えることができ、距離としては今回で1番の跳躍となった。三段跳にコンディションを合わせたため前日の幅との体の調子の差が大きく、それが全体を通して助走のズレに繋がってしまったようだ。

女子三段跳

位 渡邊朝美(4) 10m63(+2.1)

1本目はそれなりにまとめたという感じの跳躍で、最終記録となった。3本とも助走がなかなか乗れず無理に跳んでいるという感じであった。ここ最近跳躍自体が小さくまとまってしまっているため、来シーズンに向けて技術をあげていく必要があるようだ。

男子砲丸投

14位 佐藤雄也(4) 9m62

アップの最中に左脚の付け根を痛めてしまい、グライドをして左脚が伸びる度に痛みが伴う状態での出場となった。今大会での課題は、ベスト記録を出すことは勿論であるが、七大戦の際にできなかった速いグライドを確実に行うことであった。反射神経をつかうようにして左脚や上体を動かすように意識していたため、1投目では本来の速さでグライドができたが、左脚の痛みによって体制が少し崩れ、突き出しの際に力を入れられず記録は9m62。以降の試技でも同様に体勢が少し崩れながらでの投てきになったため、記録はショートに終わった。

男子円盤投

17位 工藤航平(4) 28m04

七大戦後練習が不足していたことから、1、2投目は立ち投げとした。1投目は右に流れてファールとなったものの、2投目では東北インカレでのターンの投げを上回る記録でPBとなった。3投目では更なる記録更新を目指しターンしたがファールとなった。立ち投げで30m弱の記録を出せるようになってきており、ターンを練習しさらに記録を更新していくことが期待される。

27位 佐藤雄也(4) 23m97

砲丸投と同様に怪我の痛みによってほとんどの試技でフォームが崩れていた。課題としていたターン中の脚の接地位置、ファーストターン時・接地時の脚の痛みを気にし過ぎていたため、ターン中に右腕が遅れたり、左脚に体重がのらなかつたりといった不完全な投げになってしまい、結果は23m97で低迷した。七大戦以降の練習でフォームを複数箇所調整し、左脚の痛みさえひけばベスト記録を更新する自信はあるので個人選に期待したい。

女子やり投

12位 吉田歩(4) 26m57

1本目、助走から投げ出しへスムーズに進めることができ、自己記録を更新。2本目、投げ出す直前に身体が止まってしまい、3本目は力強く投げ出すことができたが、槍先が上に向き、ファールとなった。以前に比べ動作から動作のスムーズさは見て取れたが、一つ一つの動作がまだ定着しておらず雑さが目立つので、安定した正確な動きの修得が必要であろう。

男子十種競技

16位 佐原拓郎(M1) 4784点

100m、ピッチは悪くないが、力みにより足が前方に十分振り出されておらず、足が曲がりすぎて接地されていたため、ストライドが小さい。

走幅跳、歩数を減らし、助走のリズムを意識したが、スプリントが不調のため、踏切一歩前の接地がだいぶ遠くなってしまった。40cm手前からの踏切となり、5m80程の跳躍となった。

砲丸、練習投擲で11m程跳んだが、体調不良により、本番は9m台という残念な結果であった。

高跳、助走合わせに失敗し、足首をひねってしまう。助走中の姿勢のコントロールが必要である。

400m、前半の200mが24秒台と良いペースだったが、貧血の影響が見られ、後半失速してしまった。

110mH、ディップが小さく、着地の瞬間に後傾して接地し減速してしまった。

円盤、腕が下がったまま円運動を行ったため、十分な運動量を円盤に伝えられていなかった。

棒高、握り3.5m、歩数12歩となり、跳躍高は大きく向上していた。しかし、高さには余裕があったが、空中動作が出来ず、2.8mをクリアできなかった。

やり投、雨でフィールドが滑り、全体的に低水準だった。槍を後ろに残して置かず、前方で投げるフォームとなり、遠くに飛ばすことができなかった。

1500m、貧血の影響で後半粘ることができなかった。

体力面よりも、個々の技術練習に練習内容をシフトした方が良さそうである。

◎OB・OG 対現役対校戦(10/1)・評定河原競技場

天候にも恵まれ、新しくなった評定河原グラウンドで OB・OG 戦が開催されました。競技種目として、100m、400m、1500m、走幅跳、砲丸投、やり投げ、スウェーデンリレーが行われました。結果を掲載します。

男子

・トラックの部

氏名	100m	100m	1500m			1500m	1500m	400m	400m	走	走
	(秒)	得点	(分)	(秒)	得点	(秒)	得点	得点	最高	順位	
岡部 大輝	11.43	768				0	0		0	768	24
藤井 佳祐	10.79	909				0	0		0	909	2
中村 龍士	11.66	720				0	0		0	720	33
堀越 涼	11.17	824				0	0		0	824	12
山下 一也	11.33	790				0	0		0	790	19
藤井 大輝	11.78	696				0	0	53.58	658	696	35
竹原 大	11.19	820	4	55	22	295.22	589		0	820	13
大塚 祐貴	11.43	768				0	0		0	768	24
鈴木 景		0	5	20	95	320.95	446	54.74	610	610	53
岩波 堯彦	11.84	684	5	29	99	329.99	400	54.40	624	684	38
田中 翔悟	12.15	623	4	21	76	261.76	801	54.84	606	801	17
古川 楓	11.21	815				0	0	54.07	638	815	14
佐藤 勝成	11.86	680				0	0		0	680	41
山田 将斗	11.82	688				0	0		0	688	37
羽根田佑真	11.31	794				0	0		0	794	18
松岡 恭平	12.15	623				0	0		0	623	51
渡邊 俊	11.96	660	4	23	81	263.81	787	55.57	577	787	20
千葉 智史	12.24	606	4	33	52	273.52	723	55.14	594	723	32
熊谷 駿	13.46	394	4	28	99	268.99	752	59.65	426	752	27
萩原 文博	12.13	627				0	0		0	627	49
山田 球児	11.96	660	5	15	37	315.37	475	56.24	551	660	44
吉田 真人		0	4	32	59	272.59	729		0	729	31
津嶋 優希	11.27	802	4	44	51	284.51	653		0	802	16
平野 慎也	11.96	660				0	0		0	660	44
渡辺 智輝	12.78	507				0	0		0	507	57
高橋 慧伍	12.70	521	5	6	97	306.97	521	64.21	282	521	56
吾妻 祐介		0	4	33	94	273.94	720		0	720	33
澤田 将	12.53	552				0	0		0	552	55
阿部 洸	12.02	648				0	0		0	648	47
瀬良 将太	11.56	741				0	0		0	741	28
鈴木 輝彦	12.04	644				0	0		0	644	48
酒井 洋輔		0	4	15	47	255.47	844		0	844	8
脇田 陽平	13.84	336	4	31	18	271.18	738	62.65	328	738	30
角田 陽	11.84	684				0	0		0	684	38
根谷 温	12.88	489	6	10	57	370.57	224	68.31	176	489	58
宮崎 幸辰	9.96	1107				0	0		0	1107	1

早坂 謙児	13.23	431	4	12	32	252.32	866		0	866	5
立野 佑太		0	4	15	13	255.13	846		0	846	7
森 涉	12.81	502	4	42	76	282.76	664	56.79	530	664	42
堀 拓磨		0	4	19	62	259.62	815		0	815	14
松浦 崇之		0	4	11	18	251.18	874		0	874	4
倉田 真樹	11.81	690				0	0		0	690	36
上條広裕希		0	4	24	77	264.77	780		0	780	23
森野 太介	11.34	787				0	0		0	787	20
嶺岸 雄太	13.01	467				0	0		0	467	60
出口 武志		0	4	12	32	252.32	866		0	866	5
宇梶 和希		0	4	39	53	279.53	684	55.12	595	684	38
南雲信之介		0	4	8	41	248.41	893		0	893	3
新出 悠介		0	5	14	14	314.14	482		0	482	59
大衡 竜太	11.12	835				0	0		0	835	9
関 俊樹		0	4	16	95	256.95	834		0	834	10
嶋田 拓郎		0	4	17	31	257.31	831		0	831	11
本田 雄生		0	4	24	19	264.19	784		0	784	22
酒井啓一郎		0	4	26	73	266.73	767	60.92	383	767	26
長田 公喜		0	4	30	81	270.81	740		0	740	29
佐々木亮太	13.54	381	4	49	17	289.17	625		0	625	50
箕輪 純尚	13.51	386	5	25	12	325.12	425	61.17	375	425	62
佐藤 雄也		0	6	17	59	377.59	198		0	198	66
佐藤 汰亮		0	4	43	22	283.22	661		0	661	43
藤原 啓		0	4	43	43	283.43	660	60.03	413	660	44
中西 悠悦		0	4	50	59	290.59	616		0	616	52
佐藤 泰介		0	4	59	74	299.74	562		0	562	54
浅見 大輔		0				0	0		0	0	69
真山 隆徳	15.98	91	5	43	82	343.82	335		0	335	64
伊藤 泰彬		0				0	0		0	0	69
見目 悠	14.31	271				0	0		0	271	65
槇山 正春		0	5	18	82	318.82	457		0	457	61
今泉 裕真		0				0	0		0	0	69
酒井 利晃		0				0	0		0	0	69
岡田 圭太		0				0	0		0	0	69
野尻 英志		0				0	0		0	0	69
古澤 元一		0	5	37	49	337.49	364		0	364	63
清野 雄太		0				0	0		0	0	69
山根 由経		0				0	0		0	0	69
佐藤 源之		0				0	0		0	0	69
遠藤 久則		0				0	0		0	0	69
楠木 啓介		0				0	0		0	0	69
大岩 章夫		0	7	0	14	420.14	74		0	74	67
宮崎 鉄男		0				0	0		0	0	69
大沼 俊明		0				0	0		0	0	69
楠 哲也		0	7	21	61	441.61	33		0	33	68
柴田 清	25.66	0				0	0		0	0	69

・フィールドの部と総合得点

氏名	幅 (cm)	幅 得点	跳 最高 得点	跳 順位	砲丸 (m)	砲丸 得点	やり 投 (m)	やり 得点	投 最高 得点	投 順位	総 得点	総 合 順位
岡部 大輝	673	751	751	1	10.11	493	27.62	267	493	2	2012	1
藤井 佳祐	633	660	660	3	6.87	301	21.65	185	301	22	1870	2
中村 龍士	653	705	705	2		0	37.40	406	406	8	1831	3
堀越 涼	571	526	526	8		0	38.15	416	416	6	1766	4
山下 一也	589	564	564	6	7.87	360		0	360	14	1714	5
藤井 大輝	621	633	633	5	7.62	345	21.34	180	345	17	1674	6
竹原 大	493	370	370	24	6.65	288	38.28	418	418	5	1608	7
大塚 祐貴	627	647	647	4		0	20.23	165	165	46	1580	8
鈴木 景	580	545	545	7	8.06	371	37.85	412	412	7	1567	9
岩波 堯彦	505	393	393	22	7.36	329	40.31	448	448	4	1525	10
田中 翔悟	532	446	446	14	6.16	259		0	259	30	1506	11
古川 楓	519	420	420	19		0	27.65	267	267	29	1502	12
佐藤 勝成	567	517	517	9	6.43	275		0	275	28	1472	13
山田 将斗	524	430	430	16	6.92	304		0	304	21	1422	14
羽根田佑真	556	495	495	12		0	15.64	105	105	57	1394	15
松岡 恭平	559	501	501	11		0	24.25	220	220	40	1344	16
渡邊 俊	470	327	327	29	5.62	228		0	228	38	1342	17
千葉 智史	492	368	368	25	5.53	223	13.28	74	223	39	1314	18
熊谷 駿	457	304	304	31		0	25.64	239	239	37	1295	19
萩原 文博	442	277	277	34	8.11	374		0	374	13	1278	20
山田 球児	464	316	316	30	5.81	239	29.14	288	288	26	1264	21
吉田 真人	456	302	302	32	5.46	219		0	219	42	1250	22
津嶋 優希	369	159	159	43	6.57	283		0	283	27	1244	23
平野 慎也	496	376	376	23		0	22.86	201	201	43	1237	24
渡辺 智輝	507	397	397	21		0	30.74	311	311	19	1215	25
高橋 慧伍	532	446	446	14		0	26.08	245	245	34	1212	26
吾妻 祐介	422	243	243	38	5.48	220		0	220	40	1183	27
澤田 将	473	333	333	28	6.81	297		0	297	24	1182	28
阿部 洸	534	450	450	13		0	13.79	81	81	58	1179	29
瀬良 将太	521	424	424	18		0		0	0	59	1165	30
鈴木 輝彦	564	511	511	10		0		0	0	59	1155	31
酒井 洋輔	450	291	291	33		0		0	0	59	1135	32
脇田 陽平	423	245	245	36	3.98	134	14	83	134	55	1117	33
角田 陽	522	426	426	17		0		0	0	59	1110	34
根谷 温	488	361	361	27		0	26.96	258	258	31	1108	35
宮崎 幸辰		0	0	45		0		0	0	59	1107	36
早坂 謙児	419	238	238	40		0		0	0	59	1104	37
立野 佑太		0	0	45	5.83	240		0	240	36	1086	38
森 涉	422	243	243	38	4.21	147	13.08	72	147	51	1054	39
堀 拓磨	417	235	235	41		0		0	0	59	1050	40
松浦 崇之		0	0	45		0	20.75	172	172	45	1046	41

倉田 真樹		0	0	45		0	33.71	353	353	15	1043	42
上條広裕希	430	256	256	35		0		0	0	59	1036	43
森野 太介		0	0	45		0	26.16	247	247	33	1034	44
嶺岸 雄太	492	368	368	25	4.76	178		0	178	44	1013	45
出口 武志		0	0	45		0	18.46	142	142	54	1008	46
宇梶 和希		0	0	45		0	30.38	306	306	20	990	47
南雲信之介		0	0	45		0		0	0	59	893	48
新出 悠介		0	0	45	8.35	388		0	388	11	870	49
大衡 竜太		0	0	45		0		0	0	59	835	50
関 俊樹		0	0	45		0		0	0	59	834	51
嶋田 拓郎		0	0	45		0		0	0	59	831	52
本田 雄生		0	0	45		0		0	0	59	784	53
酒井啓一郎		0	0	45		0		0	0	59	767	54
長田 公喜		0	0	45		0		0	0	59	740	55
佐々木亮太		0	0	45		0	16.27	113	113	56	738	56
箕輪 純尚		0	0	45	7.07	312	14.78	93	312	18	737	57
佐藤 雄也		0	0	45	9.88	479		0	479	3	677	58
佐藤 汰亮		0	0	45		0		0	0	59	661	59
藤原 啓		0	0	45		0		0	0	59	660	60
中西 悠悦		0	0	45		0		0	0	59	616	61
佐藤 泰介		0	0	45		0		0	0	59	562	62
浅見 大輔	510	403	403	20		0	18.66	144	144	53	547	63
真山 隆徳	274	39	39	44	4.48	162		0	162	47	536	64
伊藤 泰彬		0	0	45	8.96	424	45.18	519	519	1	519	65
見目 悠	423	245	245	36		0		0	0	59	516	66
槇山 正春		0	0	45		0		0	0	59	457	67
今泉 裕真		0	0	45	8.6	403		0	403	9	403	68
酒井 利晃		0	0	45	8.5	397		0	397	10	397	69
岡田 圭太	408	220	220	42	4.43	159	14.05	84	159	49	379	70
野尻 英志		0	0	45		0	35.28	375	375	12	375	71
古澤 元一		0	0	45		0		0	0	59	364	72
清野 雄太		0	0	45		0	33.53	350	350	16	350	73
山根 由経		0	0	45	6.86	300		0	300	23	300	74
佐藤 源之		0	0	45	6.73	292		0	292	25	292	75
遠藤 久則		0	0	45	5.98	249		0	249	32	249	76
楠木 啓介		0	0	45	5.89	243		0	243	35	243	77
大岩 章夫		0	0	45		0	19.85	160	160	48	234	78
宮崎 鉄男		0	0	45	4.42	159		0	159	49	159	79
大沼 俊明		0	0	45	4.21	147		0	147	51	147	80
楠 哲也		0	0	45		0		0	0	59	33	81
柴田 清		0	0	45		0		0	0	59	0	82

女子

・トラックの部

氏名	100m (秒)	100m 得点	1500m (分)			1500m (秒)	1500m 得点	400m (秒)	400m 得点	走 最高 得点	走 順位
吉村 梢	13.19	738				0	0		0	738	2
門脇 郁	13.49	687				0	0		0	687	3
佐貫 有彩	12.57	847				0	0	60.49	681	847	1
阿部 春花	15.53	387	5	30	27	330.27	639		0	639	5
須田 桜	16.78	242	5	22	20	322.2	687		0	687	3
青木 千景		0	5	49	3	349.03	533		0	533	7
星屋 美優	15.75	360	5	47	99	347.99	539		0	539	6
山田 千夏	16.42	281				0	0		0	281	11
岸田 晶穂	17.75	151	6	17	59	377.59	390		0	390	9
門田 佳奈	17.02	218	5	57	49	357.49	488		0	488	8
渡邊 朝美		0				0	0		0	0	12
飯田 夏生		0				0	0	68.89	386	386	10
吉田 歩		0				0	0		0	0	12
佐々木千肅		0				0	0		0	0	12
卜部 仁美		0				0	0		0	0	12
西條 詩織		0				0	0		0	0	12
佐藤 由莉		0				0	0		0	0	12
白井 花		0				0	0		0	0	12
中村真璃子		0				0	0		0	0	12
村山 友里		0				0	0		0	0	12
上條 麻奈		0				0	0		0	0	12
水嶋 花		0				0	0		0	0	12

・フィールドの部と総合得点

氏名	幅 (cm)	幅 得点	跳 最高 得点	跳 順位	砲丸 (m)	砲丸 得点	やり (m)	やり 得点	投 最高 得点	投 順位	総 得点	順位
吉村 梢	470	480	480	1	5.95	269		0	269	6	1487	1
門脇 郁	467	473	473	2	6.61	311		0	311	5	1471	2
佐貫 有彩	371	245	245	3	6.14	281	21.97	327	327	4	1419	3
阿部 春花	325	152	152	5	4.12	155	8.95	88	155	13	946	4
須田 桜	283	81	81	7		0	13.2	165	165	12	933	5
青木 千景		0	0	10	7.98	399	24	365	399	2	932	6
星屋 美優	311	127	127	6	5.36	232		0	232	7	898	7
山田 千夏	356	213	213	4	4.78	195	12.06	144	195	9	689	8
岸田 晶穂	246	30	30	9		0	13.72	174	174	10	594	9
門田 佳奈	250	35	35	8		0		0	0	15	523	10
渡邊 朝美		0	0	10	9.44	494	25.7	396	494	1	494	11
飯田 夏生		0	0	10		0		0	0	15	386	12
吉田 歩		0	0	10	7.12	344	19.69	284	344	3	344	13
佐々木千肅		0	0	10	5.2	222		0	222	8	222	14

ト部 仁美	0	0	10	4.32	167	12.68	155	167	11	167	15
西條 詩織	0	0	10	3.22	100	12.19	146	146	14	146	16
佐藤 由莉	0	0	10		0		0	0	15	0	17
白井 花	0	0	10		0		0	0	15	0	17
中村真璃子	0	0	10		0		0	0	15	0	17
村山 友里	0	0	10		0		0	0	15	0	17
上條 麻奈	0	0	10		0		0	0	15	0	17
水嶋 花	0	0	10		0		0	0	15	0	17

◎評定河原陸上競技場全天候化記念祝賀会（10/1）・・東北大学片平北門会館（旧北門食堂）

10月1日に評定河原陸上競技場で開催されたOB・OG戦に続き、グラウンドの全天候化を記念した祝賀会が東北大学片平北門会館（旧北門食堂）にて開催されました。祝賀会は総勢100名を超える三秀会会員（正会員28名、学生会員75名）の出席のもと盛大に催されました。

本会では佐藤部長より評定河原グラウンドの変遷についてプレゼンをしていただき、学生会員達にとっては、現在のグラウンドが如何に恵まれているか改めて実感する機会となりました。

また、今シーズン活躍した部員より大会報告をしてもらいました。全日本インカレにて男子100mで7位入賞した宮崎君からのビデオレターでの大会報告（岩手国体の調整のため）の後に、渡邊（俊）主将、渡邊（朝）前女子主将、吉村女子主将より今季七大戦の反省と来季七大戦に向けた抱負を語ってもらいました。長距離PCの酒井（啓）君からは全日大学駅伝四大会連続出場に向けた意気込みを話してもらいました。また、今季の部記録を更新した種目として、男子100m、男子110mH、男子3000m、男子4x100mR、男子棒高跳、女子4x100mR、女子5000mW、女子10000mWの計8種目の大会記録が紹介されました。

最後に、ご出席いただいた正会員の方々より学生会員に向けた激励のお言葉を一言ずつ頂戴し、本会は閉会となりました。現役部員とOB・OGが交流を深めることができ、大変良い企画になりました。

（文責 H9卒・吉田）

◎自己ベスト更新者(8/1~9/21)

・男子 100m

宮崎 幸辰(4) 10"35(+0.5)(全カレ)
 古川 楓(2) 11"54(+1.7)(26大戦)
 平井 景梧(1) 11"55(+0.7)(26大戦)
 津嶋 優希(3) 11"64(+0.6)
 (第5回仙台大競技会)

・男子 200m

本間 大輔(M2) 22"67(+0.9)
 (第5回仙台大競技会)
 古川 楓(2) 23"20(-0.7)
 (第5回仙台大競技会)

・女子 200m

中村 真璃子(2) 27"26(+2.0)
 (第48回全日本歯学生陸上競技大会)

- ・男子 1500m
藤原 啓(3) 4'20"65 (26 大戦)
- ・女子 3000m
西條 詩織(4) 11'48"31
(第 48 回全日本歯学生陸上競技大会)
- ・男子 5000m
酒井 啓一郎(3) 15'26"70(26 大戦)
須永 亘(2) 16'16"91(26 大戦)
- ・女子 5000m
須田 桜(2) 19'39"37(26 大戦)
阿部 春花(2) 20'23"98(26 大戦)
- ・男子 10000m
松浦 崇之(1) 32'34"88(26 大戦)
- ・男子 110mH
本間 大輔(M2) 15"12(-0.1)
(第 11 回 N.S.S.U.オープン競技会)
- ・女子 10000mW
白井 花(2) 56'10"69(26 大戦)
- ・男子棒高跳
高橋 拓実(4) 5m00(26 大戦)

◎今後の予定

- ・10月 21~23 日 第 45 回東北学生陸上競技選手権大会 ……仙台市陸上競技場(仙台市)
- ・10月 30 日 第 34 回杜の都全日本大学女子駅伝 ……仙台
- ・11月 6 日 第 48 回全日本大学駅伝対校選手権大会 ……熱田～伊勢
- ・11月 12 日 秋保マラソン ……仙台秋保温泉 ホテルニュー水戸屋(仙台市)
- ・12月 4 日 三秀総会 ……東京 (日時、場所とも予定)

◎編集後記

今号から OB・OG 通信担当となりました、阿部春花と申します。東北大学学友会陸上競技部の活躍を OB・OG の皆様へ分かりやすくお伝えできるよう精進してまいりますので、1 年間よろしくお願ひします。

先日の選考会では東北大学男子チームが全日本大学駅伝出場を決め、東北大部記録の更新と他の地方国公立大学に勝つという目標に向け、練習に励んでいます。また 26 大戦では、多くの部記録や自己ベストの更新、とチームは活気づいています。

OB・OG の皆さま、どうかたくさんのご声援をよろしくお願ひします。

文責 副務 阿部春花

東北大学陸上競技部三秀会

〒980-0815 仙台市青葉区花壇2-1

東北大学評定河原グラウンド内

hukumu_tohoku_ob2sin@yahoo.co.jp

26 大戦決勝記録一覧

日時：平成 28 年 9 月 19 日(月)～21 日(水) 会場：Shonan BMW スタジアム平塚

・男子

種目名	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位								
男子100m 風+1.2	加藤 祐介(4) 東学大	10.58	長谷川 寛(3) 東学大	10.79	小口 智毅(2) 一橋大	10.85	石井 嵐(3) 静岡大	10.87	中野 彬徳(2) 横国大	10.90	佐藤 裕太(3) 横国大	10.95	松島 直(4) 一橋大	10.97	山田 将斗(4) 新潟大	11.00
男子200m 風+2.8	齋藤 郁磨(4) 東学大	21.48	関原 真(2) 新潟大	21.91	田中慎太郎(3) 山形大	21.91	房田 匠実(3) 福島大	21.97	津ヶ谷健太(4) 横国大	22.11	佐藤 裕太(3) 横国大	22.23	三澤 駿之介(2) 信州大	22.34	深野 輪河(M1) 山形大	22.36
男子400m	関原 真(2) 新潟大	48.04	照内 颯(4) 福島大	49.42	宮越 裕太(2) 福島大	49.56	佐藤 僚太(3) 横国大	49.81	石原 祐介(4) 千葉大	49.85	増田 一輝(4) 横国大	50.32	深澤斗希也(M1) 静岡県大	50.37	川口 真司(2) 宇都宮大	50.93
男子800m	大木 学(4) 千葉大	1:52.52	川口 航汰(2) 東北大	1:53.46	山川 惇生(2) 横国大	1:53.88	桑原 陸(1) 千葉大	1:54.36	青柳 良英(3) 横国大	1:54.67	加藤 聖也(3) 高崎経済大	1:54.93	鶴崎 大輔(4) 福島大	1:57.56	大塚 純都(1) 新潟大	1:57.67
男子1500m	青柳 良英(3) 横国大	3:58.62	大木 学(4) 千葉大	3:59.04	風戸 啓希(4) 東工大	3:59.70	松井 将器(M1) 東工大	4:02.48	河合 正貴(2) 東農工大	4:03.08	西園 亘祐(4) 東工大	4:03.32	箱崎 喜郎(3) 一橋大	4:04.03	柿沼 拓也(3) 首都大	4:04.32
男子5000m	松井 将器(M1) 東工大	14:32.89	露口 陽平(3) 静岡大	14:47.46	関根 輝也(4) 千葉大	15:04.39	郡司 康平(M2) 宇都宮大	15:05.26	柿沼 拓也(3) 一橋大	15:06.81	栢川健太郎(3) 横国大	15:06.81	矢走 拓斗(3) 福島大	15:07.34	本間 涼介(4) 東北大	15:08.23
男子10000m	松井 将器(M1) 東工大	30:29.20	山田 幸輝(4) 埼玉大	30:51.63	古山雄一郎(2) 信州大	31:41.16	水落 秋里(3) 金沢大	31:42.82	栢川健太郎(3) 横国大	31:44.31	矢走 拓斗(3) 福島大	31:45.56	谷津 穂高(2) 信州大	31:48.27	郡司 康平(M2) 宇都宮大	31:58.49
男子110mH 風+1.8	矢田 弦(4) 東学大	14.03	佐藤 浩大(M1) 横国大	14.59	永島 唯哉(3) 東工大	14.60	官野 優翔(3) 新潟大	14.84	前三盛喬貴(1) 東学大	14.85	岩崎 領(M1) 東学大	15.20	荒井 孝彦(3) 福島大	15.32	鷹野 玲大(4) 千葉大	15.52
男子400mH	森山 史孝(3) 電通大	52.05	宮越 裕太(2) 福島大	52.33	照内 颯(4) 福島大	53.86	尾崎 康太(2) 千葉大	54.13	吉田 京平(1) 東学大	54.21	石原 裕介(4) 千葉大	54.71	渡部 祐喜(3) 埼玉大	54.86	塚原 悠貴(4) 横国大	56.60
男子3000mSC	湊 吾吾(4) 首都大	9:25.62	関根 輝也(4) 千葉大	9:26.55	郡司 康平(M2) 宇都宮大	9:32.76	園川 大樹(3) 新潟大	9:36.53	黒島 永竜(4) 東学大	9:42.93	篠田 啓貴(3) 群馬大	9:45.52	鶴/沢敦志(2) 横国大	9:46.41	田中 耀介(M1) 静岡大	9:46.94
男子10000mW	青山 福泉(2) 東学大	43:58.46	高橋 直己(3) 東学大	44:16.67	割田 圭祐(3) 静岡大	46:21.27	血井 泰光(M1) 横国大	47:00.04	山中 龍徳(1) 高崎経済大	47:16.54	及川 一真(2) 東北大	49:44.42	宮崎 竜一(3) 金沢大	50:49.97	松田 智宏(1) 山形大	51:09.06
男子4×100mR	増田 健吾(1) 長谷川 寛(3) 直井 貴哉(1) 齋藤 郁磨(4)	41.26	静岡大 近藤 充洋(3) 朝日 喜紀(1) 石井 嵐(3) 窪田 駿(M1)	41.43	横国大 津ヶ谷健太(4) 中野 彬徳(2) 増田 一輝(4) 佐藤 裕太(3)	41.51	一橋大 山本桂太郎(3) 松島 直(4) 安藤 大樹(3) 小口 智毅(2)	41.55	東工大 岩井 梨輝(2) 永島 唯哉(3) 永井 生(4) 天野 皓平(4)	42.31	埼玉大 藤島 翼(3) 島崎 清弥(3) 小櫃 伸介(3) 服部 翼(4)	42.71	都留文大 雨宮 瞬哉(3) 長坂 宏紀(4) 二宮 聡史(4) 船木 勇助(2)	43.75	新潟大 高橋 雄佑(3) 山田 将斗(4) 加藤 聡太(1) 管 慎太郎(4)	失格
男子4×400mR	東学大 吉田 京平(1) 齋藤 郁磨(4) 加藤 裕介(4) 天野 祥希(M2)	3:14.13	新潟大 田畑 行信(4) 関原 真(2) 新通 拓己(3) 山賀 幹(3)	3:16.28	福島大 中山 雄介(2) 宮越 裕太(2) 房田 匠実(3) 照内 颯(4)	3:16.54	千葉大 石原 裕介(4) 原田 恵伍(4) 川島 和真(4) 大木 学(4)	3:18.17	信州大 坂巻 太一(3) 大島 直哉(3) 浦田 敦也(3) 三澤駿之介(2)	3:19.90	山形大 三上 諒樹(4) 淀野 輪河(M1) 早坂 亮太(2) 市川 広樹(2)	3:20.43	高崎経済大 石井 浩哉(1) 品田 和希(3) 新井 政宏(3) 及川 大樹(1)	3:21.42	電通大 吉野 大(M2) 森山 史孝(3) 萩野 隼(1) 高島 良純(1)	3:24.07
男子 走高跳	山下 一也(2) 東北大	2m00	杉浦 考昭(3) 三重大 小沼 祐希(1) 茨城大 小林 拓己(4) 東工大	1m95					小河 雅広(3) 東工大	1m95	鈴木 敦也(1) 宇都宮大	1m95	松本 僚(3) 千葉大	1m90	内山 貴仁(2) 新潟大 榎永 理気(1) 東農工大 岩下 友輝(2) 横国大	1m90
男子 棒高跳	高橋 拓実(4) 横国大	5m00	高須 莉喜(2) 横国大	4m70	青山 芽生(4) 横国大	4m20m	菅沼 舜(2) 東学大	4m20	井澤 紘隆(1) 福島大	4m10	渡辺 裕(M2) 千葉大	3m90	保科 一輝(3) 山形大	3m70	清水 一馬(2) 信州大	3m70
男子 走幅跳	水嶋 悠太(3) 東学大	7m66 +3.4m	二宮 聡史(4) 都留文大	7m60 +2.9m	奈良 光洋(1) 山梨大	7m14 +0.5m	岡島 佑樹(3) 新潟大	7m08 +1.2m	岡部 大輝(M2) 東北大	7m06 +2.4m	清水 航己(1) 福島大	7m01 +2.2m	高橋 裕仁(3) 福島大	6m87 +1.6m	柏倉 康平(1) 山形大	6m81 +0.7m
男子 三段跳	窪田 章吾(2) 東学大	15m27 +2.1m	向井 康晃(M2) 金沢大	14m74 +0.4m	武田 聖生(4) 福島大	14m45 +1.6m	小坂橋遼太(3) 新潟大	14m42 +3.2m	小坂橋拓斗(4) 新潟大	14m41 +3.3m	岡部 大輝(M2) 東北大	14m39 +1.4m	須藤 海(4) 東北大	14m26 +2.5m	外池 康裕(3) 首都大	14m26 +2.0m
男子 砲丸投	今 祐太(M1) 埼玉大	15m16 NGR	栗本 恭宏(1) 東学大	13m87	萩原 怜(2) 山梨大	13m10	矢口 幸平(3) 埼玉大	13m01	星 優介(2) 山形大	12m70	宮入 紳豪(3) 東学大	12m14	軽井 雅文(4) 三重大	12m10	坂本 竜一(3) 東学大	11m34
男子 円盤投	矢口 幸平(3) 埼玉大	43m61	宮入 紳豪(3) 東学大	42m13	今 祐太(M1) 埼玉大	37m97	橋本 瞭(2) 静岡大	37m48	立花 翔太(1) 金沢大	36m65	渡邊 直希(1) 静岡大	36m43	森 輝竜(2) 山梨大	35m91	萩原 怜(2) 高崎経済大	35m82
男子 やり投	矢部 尚史(3) 一橋大	62m16	須藤 俊亮(3) 福島大	61m52	中浦 凌馬(3) 茨城大	61m32	河洲 孤利(2) 金沢大	59m36	野田 祐貴(1) 金沢大	58m49	伊藤 弘樹(2) 山梨大	58m11	梅林 脩平(4) 静岡県大	56m49	西山 忠宏(2) 新潟大	56m42
男子 十種競技	柏倉 飛鳥(4) 東学大	7011点 NGR	浅澤 豊(3) 福島大	6090点	佐藤 智治(3) 千葉大	6019点	久保 敬寛(3) 東学大	5950点	笹野 純也(3) 横国大	5471点	新井 俊哉(4) 新潟大	5449点	堀尾 佳希(4) 茨城大	5412点	日黒 誉之(2) 金沢大	5370点

・女子

種目名	1位		2位		3位		4位		5位		6位		7位		8位	
女子100m 風+1.2	松本沙耶子(3) 都留文大	12.04	安部 遥香(4) 福島大	12.05	熊谷 妙子(2) 横国大	12.21	秋田 理沙(2) 金沢大	12.25	荒木 葵(4) 横国大	12.30	小峰紫緒里(3) 埼玉大	12.30	豊田 麗(1) 横国大	12.33	渡辺 優衣(4) 静岡県大	12.65
女子200m 風+1.2	高橋美香子(4) 福島大	24.63	秋田 理沙(2) 金沢大	25.14	園田可南子(4) 都留文大	25.26	宇喜多七海(3) 東学大	25.27	山下 愛美(M2) 福島大	25.37	豊田 麗(1) 横国大	25.38	杉山 董(1) 横国大	25.67	安西この実(4) 東学大	25.81
女子400m	高橋美香子(4) 福島大	56.77	内山 成実(3) 東学大	57.49	福里 秋帆(4) 横国大	57.58	安西この実(4) 東学大	57.62	堅田 悠希(2) 横国大	58.09	秋田 理沙(4) 新潟大	58.23	鈴木 杏奈(4) 茨城大	59.10	秋田 理沙(2) 秋田大	1:00.20
女子800m	下部 蘭(3) 東学大	2:11.09	福里 秋帆(4) 横国大	2:11.45	小野 莉奈(4) 福島大	2:11.62	石井 彩(2) 都留文大	2:19.85	荒木 麻理(4) 千葉大	2:20.04	中村あゆみ(3) 福島大	2:20.59	西海ひなた(3) 都留文大	2:20.77	多田 光里(2) 東農工大	2:23.61
女子1500m	山田 はな(4) 東学大	4:28.87	下部 蘭(3) 東学大	4:30.22	小野 莉奈(4) 福島大	4:35.23	横山 千晶(4) 新潟大	4:44.54	石川 優鈴(1) 首都大	4:45.46	廣瀬 未来(3) 茨城大	4:46.03	石田 千明(2) 都留文大	4:46.56	中村あゆみ(3) 福島大	4:48.61
女子5000m	横山 千晶(4) 新潟大	17:18.18	橋本紗枝子(6) 山形大	17:42.61	廣瀬 未来(3) 茨城大	17:46.07	大関 佳(2) 福島大	18:06.96	土屋 希穂(1) 静岡大	18:07.31	山田 祥穂(2) 三重大	18:08.04	鎌田有希子(2) 新潟大	18:08.19	舟山 愛理(2) 山形大	18:09.93
女子100mH 風+1.7	安部 遥香(4) 福島大	13.87	桑原 美月(4) 都留文大	14.01	中釜佐和子(1) 東学大	14.15	森岡 美紅(4) 横国大	14.22	浦郷 愛(2) 首都大	14.77	羽鳥 遥(3) 東学大	14.82	赤木由布子(2) 横国大	15.39	大神田南海(3) 都留文大	失格
女子400mH	中釜佐和子(1) 東学大	1:00.68	内山 成実(3) 東学大	1:01.73	松村 涼(2) 横市大	1:01.97	寺尾 真理(4) 新潟大	1:02.00	渡邊 愛和(4) 埼玉大	1:04.65	小林 莉菜(2) 茨城大	1:06.10	後藤 美優(4) 福島大	1:06.21	松尾 祐里(4) 福島大	1:08.69
女子10000mW	萩原采以子(1) 東学大	50:52.08	高野 美咲(4) 福島大	52:25.01	青山 真子(2) 信州大	55:59.31	白井 花(2) 東北大	56:10.69	山下 友子(1) 金沢大	56:35.07	安藤 里菜(3) 横市大	61:11.88				
女子4×100mR	福島大 安部 遥香(4) 高橋美香子(4) 齋藤 歩夏(3) 山下 愛美(M2)	46.46	都留文大 林田 小葉(3) 松本沙耶子(3) 永瀬 綾夏(3) 池山 知佳(1)	47.73	埼玉大 鬼塚 玲寧(2) 渡邊 愛和(4) 江口 琴美(2) 小峰紫緒里(3)	47.87	横国大 熊谷 妙子(2) 杉山 董(1) 宮城 朝香(3) 豊田 麗(1)	47.88	東学大 児島 里菜(4) 宇喜多七海(3) 澤田イレーネ(1) 安西この実(4)	48.14	茨城大 後藤 晴菜(3) 鈴木 杏奈(4) 姥名 史織(3) 堀邊 美咲(1) 小林 莉菜(2)	49.89	山形大 高橋かおり(1) 伊藤 新菜(3) 高橋 万由(4) 阿毛 清夏(1)	50.47	静岡県大 川上真由子(2) 渡辺 優衣(4) 三浦 菜穂(1) 渡邊 瑛里(1)	58.29
女子4×400mR	福島大 齋藤 歩夏(3) 安部 遥香(4) 小野 莉奈(4) 高橋美香子(4)	3:44.96	東学大 宇喜多七海(3) 中釜佐和子(1) 安西この実(4) 内山 成実(3)	3:45.49	横国大 杉山 董(1) 山形大 山形大 宮城 朝香(3) 福里 秋帆(4)	3:49.65	都留文大 野田 理都(2) 堅田 悠希(2) 泉田 怜恵(2) 園田可南子(4)	3:50.62	茨城大 鈴木 杏奈(4) 姥名 史織(3) 堀邊 美咲(1) 小林 莉菜(2)	3:59.55	新潟大 佐藤ちはる(3) 寺尾 真理(4) 田村 優(1) 小山 清夏(3)	4:03.22	千葉大 二宮 萌々(3) 松島 由佳(1) 萬 優里(3) 荒木 麻理(4)	4:06.54	埼玉大 鬼塚 玲寧(2) 田嶋 里音(1) 松陰 映里(3) 渡邊 愛和(4)	4:08.77
女子 走高跳	山崎 彩夏(3) 静岡大	1m65	津吹アイリ(4) 東学大	1m60	田中 里実(3) 東学大	1m60	加藤 楓(1) 静岡大	1m60	赤木由布子(2) 横国大 佐藤穂奈美(4) 山形大 芝崎 祐美(1) 茨城大 飯野 綾(2) 群馬大	1m55						
女子 棒高跳	上川 茜(4) 首都大	3m50	大川 楓(4) 東学大	3m40	安田 侑(4) 福島大	2m80	堀 裕子(3) 福島大	2m40	小林 優里(2) 千葉大 佐藤麻梨乃(3) 横国大	2m40			畑 遥香(4) 横国大	2m20		
女子 走幅跳	西村 千明(1) 東学大	5m83 +1.6m	森岡 美紅(4) 横国大	5m80 +1.1m	高橋かおり(1) 山形大	5m78 +0.8m	相原 千枝(M2) 山梨大	5m78 +3.4m	高橋 英里(3) 福島大	5m61 +2.9m	岩崎 幸菜(3) 横国大	5m59 +2.9m	後藤 晴菜(3) 茨城大	5m57 +4.0m	田島 咲華(2) 高崎経済大	5m57 +0.1m
女子 三段跳	高橋かおり(1) 山形大	12m21 +1.2m	宮城 朝香(3) 横国大	12m13 +0.7m	高橋 英里(3) 福島大	12m03 +0.3m	森岡 美紅(4) 横国大	11m98 +1.2m	相原 千枝(M2) 山梨大	11m92 +1.4m	寺尾 千慧(1) 東学大	11m54 +0.9m	市岡 奈月(3) 東学大	11m52 +1.3m	西内美香子(1) 都留文大	11m34 +1.0m
女子 砲丸投	神山 結衣(2) 茨城大	11m95	市川 瑞穂(3) 新潟大	10m62	佐藤 瑞恵(3) 高崎経済大	10m34	高橋このか(2) 東学大	9m69	柏木 玖美(4) 山梨大	9m68	平賀 美波(1) 都留文大	9m61	石川 瑛子(2) 東学大	9m57	畑 遥香(4) 横国大	9m54
女子 円盤投	高山和歌子(4) 群馬大	40m58	神山 結衣(2) 茨城大	39m26	市川 瑞穂(3) 新潟大	38m56	平賀 美波(1) 都留文大	35m99	柏木 玖美(4) 山梨大	31m93	佐藤 瑞恵(3) 高崎経済大	31m57	安田 萌(M2) 茨城大	31m29	金森 彩葉(1) 静岡大	27m74
女子 やり投	島田 夏純(1) 茨城大	48m20	平石 風歩(2) 東学大	48m02	荒 裕子(3) 福島大	46m64	高橋奈津子(1) 福島大	44m23	野中 紗希(4) 宇都宮大	41m73	安田 萌(M2) 茨城大	38m36	並羅 由佳(3) 静岡大	37m98	佐伯悠里香(3) 信州大	37m65
女子 七種競技	高橋このか(2) 東学大	5003点 NGR	大坪菜々美(3) 横国大	4234点	大塚 美穂(3) 茨城大	4163点	阿毛 清夏(1) 山形大	3990点	畑 遥香(4) 横国大	3986点	石井佑里菜(3) 都留文大	3649点	高松愛咲美(4) 新潟大	3554点		